ゆう・ゆう

社会福祉法人 育 成 会
いわき市常磐下船尾町東作51
TEL・FAX (0246) 43−4466
発行責任者
理事長 酒 主 照 之
ご意見・ご感想は…
goiken@ikuseikai.com

第28回 園遊会
平成17年 5月29日

輝きを求めて

社会福祉法人 育成会
理事長 酒主 照之

初代の阿部傳六氏から熊谷繁治氏と引き継がれた当法人は、以来、地域に確固とした地盤を築いてまいりました。その伝統ある法人を引き継ぐことになり、責任の重さに身の引き締まる思いがいたします。

折りしも障害者自立支援法が今国会に上程され、これまでの応能負担から定率をミックスさせた応益負担に改正される見通しとなりました。障がいのある人にとって、負担増は避けられない情勢となっております。

社会自立を旗印にした地域移行の流れは、支援費制度と相俟って、当然の成り行きかもしれません。しかし、社会自立と地域移行を陰から後押しする家庭の弱体化は、大きな懸念材料となっております。

かつての日本の家庭は、祖父母がいて複数の兄弟がいるという懐の深さがありましたが、最近の核家族化と少子化の波は、将来の深刻な労働力不足と国家財源の疲弊化を暗示しております。そして、それはとりもなおさず、障がいがある人たちに少なからぬ影響を与えるものであることは明白です。親亡き後は兄弟にという図式が崩れた今、現状で頼れるのは人的な社会資源と現在ある施設と制度ということになります。

いわき光成園
蒲生　卓也 さん

行政主導による入所施設解体論もささやかれる今日ですが、そのためにはそれに替わるグループホームの整備など、行政が本腰をいれて取り組まなければ、大多数の賛意も協力も得られないのではないでしょうか。

宮城県の舟形コロニーでは、入所施設の利用者の多くを出身地近くに用意したグループホームに移し、そこに施設職員を配置して職員の身分を保障したそうですが。

人的な社会資源の活用という観点からいえば、当法人の中にある施設では、ボランティアで来たことがある高校生が通学の途中に立ち寄って、利用者と自然に交流しているという話を聞きました。ほのぼのとした情景が浮かんでくるようです。

また、ある老人ホームの施設長さんからは、こんな話を伺いました。「近くには高校があって、そこの生徒が停学処分になったときでした。時の校長先生がボランティアをさせてほしいと、その生徒を連れてきました。生徒には最年長のおばあさんを充てました。貼り絵などを一緒にしてもらいましたが、生徒はいっこうに心を開こうとはしませんでした。数日経って、ボランティア最後の日に、おばあさんがその生徒に言いました。『あなたは私の先生よ。ありがとう』。いつも無表情だった生徒は、その言葉を聞くやパッと表情を輝かし、本当に嬉しそうでした。自分という存在が認められたことが、自分にも何かできることがあるということが、うれしかったのでしょう」

人に接するわたくしたちに、褒めることの大切さを教えてくれる話ではないでしょうか。

利用者はもちろん、関係する皆の表情が輝いている法人、施設であるよう努めなければと考えております。

いわき光成園
森岡　祐一 さん

社会福祉法人育成会役員

■理　事

（平成十七年度～平成十八年度）

理事長　酒主　照之
理　事　熊谷　繁治
理　事　江尻　定吉
理　事　永井　俊正
理　事　高村トミ子
理　事　吉村　英博
理　事　宮野　悦甫
理　事　小佐野延勝
理　事　五十嵐文男
監　事　鈴木　弘長
監　事　比佐　臣一
監　事　小野　勇一

■評議員

（平成十六年度～平成十七年度）

評議員　熊谷　繁治
評議員　永井　俊正
評議員　高村トミ子
評議員　酒主　照之
評議員　小佐野延勝
評議員　吉村　英博
評議員　羽根石清子
評議員　森田　修
評議員　佐藤　善雄
評議員　佐久間　昭
評議員　佐藤　守永
評議員　齋田　啓二
評議員　若林　誠一
評議員　菊地　弘
評議員　高橋　恵子
評議員　蒲生　珠美
評議員　山名　千昭
評議員　山崎　裕朗
評議員　稲葉　広直

地域生活の推進に不安

いわき育成会保護者会連合会
会長　小佐野　延　勝

知的障がい者も地域社会の中で一社会人として、ごく普通の生活ができるようにとの、ノーマライゼーションの理念に基き、地域社会のバリヤが取り払われ、安心して生きられる時代になったのだと言う実感が少しは意識できる時代になり、知的障がい者を持つ親としては、親亡き後も、子供達が地域社会にお世話になり乍ら、更には福祉施設のバックアップを受けて生きてゆけるのだと認識して、子供をグループホームひまわりで生活をやらせ始めて三十ヶ月が経過しようとしている。

平成十四年の十一月五日四人の利用者に世話人をお願いして生活ホームを立ち上げたが、さてどこ迄、いつ迄続けられるのかと不安になった。でも駄目で元々やれる所迄やって見てと、決断にふみ切った。

平成十五年四月には、生活ホームとしての市の助成がつき、先々に張り合いがついた。それから半年がすぎて、開始丸一年を迎え一年の実績をふまえ国の制度にのれて、グループホーム認可は待てど十二月迄待っても通達はこない。国の財政難からおくれ、ようやく十六年一月国の制度にのれたグループホームひまわりが生まれた。

グループホーム立ちあげ一年も経たない秋には障害者自立支援法が厚労省より提示された。とんでもない事だと思う。最低生活の保障にもとどかない年金額で応益負担をせよとはどうした事かと考えさせられる。給付した年金をとりあげる法案の審議が国会で続いているが、施策の見なおしを是非とも望みたい。

育成会・居宅介護事業所開設

ライフサポートセンター「ゆう・ゆう」
センター長　五十嵐　正　樹

今年度四月一日にいわき市の認可を受け、支援費制度での居宅介護事業所が開設致しました。事業所名は「ヘルパーステーション風雅（ふうが）」と命名し、意味は利用者の方の心に暖かい風を送り込み、地域で豊かに優雅な生活を送る事を目指すということです。

事務所は、湯本駅前常交ビル1階、ライフサポートセンターゆう・ゆう内となり、ライフサポートセンター長がヘルパーステーション風雅管理者を兼務しております。又サービス提供責任者として瀬谷操（前いわき学園支援員）が担当を致します。

居宅介護（ホームヘルプ）のサービス内容は、移動介護・身体介護・家事援助にわかれており各々の内容を簡単に説明致します。

1、移動介護では病院や役所、スーパー等に一緒に行き、手続きや買い物等のお手伝いをします。その他、社会参加に必要な部分の付き添いをします。

2、身体介護は各家庭にて食事、排泄、入浴（清拭）、整容等の身体に直接係わる部分での介護のお手伝いをします。

3、家事援助は、掃除、洗濯、整理整頓、買物、調理等家庭で必要な家事全般のお手伝いをします。

以上の各種サービスについて育成会の有資格者の職員と、登録ヘルパーがお手伝いをさせていただきます。その他、ライフサポートセンター「ゆう・ゆう」でも、今年度の育成会地域生活関係アンケートをもとに地域生活に向け必要な資源づくりと、生活をしていて困った事等の相談を随時受付けますので、気軽に御利用下さい。

ライフサポートセンター
「ゆう・ゆう」
ヘルパーステーション風雅
TEL
FAX　43-4458
※登録ヘルパーを随時、募集しております。

未来

近頃テレビや新聞のニュースでは、おめでたい明るいニュースとはほど遠い、暗い悲しいニュースを多く目にします。列車やバスの事故・殺人・犯罪…いつからこのような世の中になってしまったのでしょうか。

記憶に新しい列車事故で「列車が一番安全だから」と言い、普段全く電車に乗ったことがないその人が、たまたま乗った列車で命をおとしてしまったと知りました。連日この事故のニュースが流れ、被害者の気持ちを考えるといたたまれない気持ちがこみあげてきます。技術が発達していく世の中で、いつ何時自分に家族に災害がおこるか分かりません。また、誰にでもおこりうることです。

毎日を平和に穏やかに過ごせる社会は望めないのでしょうか。ニュースを見ながら晴れわたる空を眺めつつ思う今日この頃です。

いわき学園
〒972-8312
いわき市営磐下船尾町東作51
TEL (0246) 43-4445
FAX (0246) 44-4802
gakuen@ikuseikai.com

平成17年度 いわき学園 事業計画

1. 基本方針

利用者の自己決定を中心とした自立をめざすため、エンパワーメントを高めていくとともに、利用者の尊厳の保持及び権利擁護に努め個々の多様なニーズを支援する。

2. 重点項目

(1)利用者の自立支援と権利擁護

一、生涯支援計画（個別支援プログラム）と自立支援

①個々のニーズに基づく、機能別支援体制の確立を目指す。

・就労移行支援（就労システム）の確立を目指す。

・生活福祉の確立を目指す。

②地域生活支援の推進

・地域生活援助事業及び短期入所事業の拡充、定着。

・地域生活移行に向けての体験の場を設ける。

・社会資源、人的資源の整備活用

・余暇活動企画への積極的参加推進

二、利用者の権利擁護に努める。

①利用者相談解決システムの継続（苦情解決機関「かけはし」）

(2)職員の資質向上

一、育成会機構に基づく専門としての自覚。

二、内、外部の各種研修への参加

(3)地域福祉の推進

一、福祉全般相談業務の推進

二、情報収集、開示の徹底

三、地域福祉懇談会の開催

四、地域ふれあいボランティア活動の展開

五、家庭、地域、関係機関との連携

いわき光成園
星　裕子 さん

平成17年度 利用者自治会紹介！

会長　鈴木　猛 さん
副会長　諸橋　恵吾 さん
副会長　尾形登支子 さん
書記　永山　正幸 さん
会計　藁谷　正枝 さん
監事　根本　時久 さん
監事　島村　芳恵 さん

観桜会

4月15日、満開の桜の下お花見会が開かれました。桜を愛でるより、花よりダンゴ！並べられた御馳走に舌鼓をうち、お腹もいっぱいになったころビンゴゲームへ。皆、景品に一喜一憂しながら楽しい時を過ごしました。

異動のお知らせ

4月1日付で瀬谷操職員が新設されました「ヘルパーステーション風雅」へ配属となりました。

食居みらいからのお知らせ

5月9日より、インターネット上で授産製品が購入できるようになりました！

詳しくはHPで。

URL　www.ikuseikai.com/gakuen/

独り暮らし老人宅訪問

たけのこご飯とかしわ餅のお届けです。どうぞ召し上がれ～。

平成17年度 いわき育成園 事業計画

いわき育成園
〒974-8204
いわき市高倉町鶴巻35
TEL (0246) 62-2241
FAX (0246) 62-2199
ikuseien@ikuseikai.com

1. 基本方針

当園を生活の場としている利用者個々の特性に合わせた社会性の向上を図っていく。同時に地域生活移行の取り組みを含めた園内での生活をいかに快適なものとしていくかを、本人・保護者・職員が共に考え実現に向けて支援していくことを全事業の基底とする。

2. 重点項目

(1) 生活の質の向上

○個別支援計画を基に、満足度の高い日常生活の実現。

①高齢化、重度化に伴う共有スペースのバリアフリー仕様等。

(2) 地域生活移行支援

○園を起点とした徒歩圏内での地域生活の充実。

①世話人の確保及び研修体系の構築。

②日中活動の充実等。

③地域福祉懇談会の充実。

④社会資源の活用。

(3) 職員研修体系の構築

○専門研修の体系化による支援技術の習得

①強度行動障害援助専門機関との定期的技術提携の推進。

②専門研修の場を目指すことに努める。

3. 支援方針

施設を利用する一人一人に対し、生涯に渡るより良い福祉サービスを心がけながら、その一段階でもある地域生活移行のあり方を掘り下げた取り組みをする。また、施設体系の変化に柔軟に対応すべく、求められるサービスを的確に捉えた専門性の向上を図る。

(1) 生活の質の向上

○居住施設として、個を尊重した満足度の高い生活を提供する。

①重度・高齢化を意識して、個々の動線を見直しながら、より安全な環境を提供していく。

(2) 地域生活移行支援

○地域生活の模範的な体験を全員が行ない、地域生活移行へのイメージを掴む。

①世話人の確保及び研修体系の構築

地域生活移行に必要な世話人の確保に努め、サービスの充実と均衡化が図れるよう指導する。

特に、グループホームみのりのバックアップ施設として、地域に溶け込むホームの核となるよう世話人の資質向上を図る。

②日中活動の充実

利用者個々の状況に合わせて、作業能力の向上を図っていく。また、社会生活を実践する上で必要な情緒面の安定を図る。

③地域福祉懇談会の充実（年3回）

現在の懇談会構成員に加え、各自活訓練棟の近隣地域の方にも参加を呼びかけ、円滑な地域生活がおくれるように働きかけを強めていく。

④社会資源の活用

地域行事・サークル活動などの情報を利用者に提供し、参加をコーディネイトしていく。

(3) 職員研修体系の構築

強度行動障がいをはじめとして、社会的行動が困難な人に対し、施設内研修体系を構築し、OJTを通して職員の技術向上を図る。

コロロETセンター出張研修講座

さる3月2日、当園において自閉症を有する方の専門的機関で、コロロメソッド《言語認知能力が低いため、集団に適応できないなどの問題を抱える方の、社会適応のための教育システムとプログラム》により療育を行っている『瑞学園』の久保田小枝子園長を講師に招き研修が行われました。瑞学園で行われている自閉症者の支援について、実践事例を含めてビデオを使って分かり易く講演していただきました。

支援技術の一貫性と専門性を高めるために、今後2ヶ月に一度（奇数月に開催）コロロ学舎と連携を図りながら、研修を行っていきます。参加自由ですので、興味のある方は、是非ご参加下さい!!

《参加者の声》

・まさに目からウロコ、刺激的な講義でした。

・自閉症の方の悩みが分かりました。

『IT基礎技能講習会』

2月～3月にかけて全6回の予定で、野崎洋子さん、村上弘江さん、西山恵美子さんの3名が、「IT基礎技能講習会」に参加しました。初めは緊張が見られたものの、徐々にパソコンにも慣れ、線や絵の描画や色ぬり等を行い、とても意欲的に参加していました。

西山恵美子
3月2日

号外!! 平成17年度 自治会役員

会長	高橋理恵子 さん
副会長	坂本美智子 さん
書記	丹野　桂吾 さん
会計	中沢　昌夫 さん
監事	山崎　頼子 さん
監事	三村　和正 さん

アクリルタワシ 販売中!!

当園の利用者3名が、丁寧に編みあげたカラフルなアクリルタワシを販売しています。洗車用、台所用としてご家庭にいかがですか？

一枚100円で販売中！

平成17年度 いわき光成園 事業計画

〒972-8312
いわき市常磐下船尾町東作53
TEL (0246) 43-0012
FAX (0246) 43-0013
kouseien@ikuseikai.com

1. 基本方針

障がいを持つ方々が自身のライフステージを構築する上でのあらゆる支援を実施し、障がいを持たない人と対等の幸福追求の実現を図るべく、施設が常に成長し続ける体制を確固たるものとする。

2. 重点項目

(1) 一人ひとりの個性を最大限に尊重し、個々に合った支援のあり方に焦点をおく。

① 一人ひとりの障がいに応じたニーズを取り入れるべく細分化された支援プログラムの構築。

・日常生活での生活の質（QOL）を得るための向上目指す。

・重い障がいのある人に「心地よい空間づくり」として「スヌーズレン」の構築

(2) 社会資源、人的資源を有効活用し、支援の場を施設内に留めることなく常に地域社会との接点を持ち続ける。

① 個々人の多様なニーズに適切に対応し、地域で自立した生活が営むことができるように支援する。

・身近な場所での本人、家族の支援をする。「指定短期入所事業所（宿泊）」

・グループホームのバックアップ施設として総合的支援をする。（世話人・ボランティア等の養成）

(3) 障がいの専門的な知識、最新かつ有効な支援の内容などを常に把握できる体制のために、職員の質の向上を充分に図る。

(4) 地域社会が支え合う支援をめざし、地域はもとより行政、関係機関、保護者との連携を密にする。

平成17年度 自治会役員

会長　蒲生　卓也さん
副会長　森岡　祐一さん
副会長　草野　恵子さん
書記　星　裕子さん
書記　高瀬　美幸さん

がんばります(^o^)

観桜会

去る4月15日、いわき学園、いわき光成園合同で、観桜会が行われました。短い開花の中、満開の桜の下で会を行うことができ、風に舞う花の艶やかな美しさに酔いしれました。

ひとり暮らしご老人宅訪問

去る5月6日、地元下船尾地区の一人暮らしのお年寄り宅を訪問し、端午の節句にちなんだメニューを届けてきました。皆さん、とても喜んでくれました。

ご報告

支援員の佐々木です。
4月18日に子供が産まれました。名前は由剛（ゆうご）元気いっぱいな男の子です。

HOPE
いわき希望の園
〒971-8184
いわき市泉町黒須野字早稲田217-1
TEL (0246) 75-0202
FAX (0246) 56-0039
kibou@ikuseikai.com

平成17年度 いわき希望の園 事業計画

1. 基本方針

人権擁護を礎に、障がいを持つ方々が自身のライフステージを構築する上でのあらゆる支援を実施し、自立と社会経済活動参加を図るために、障がい者福祉環境の変化に即応できる施設体系を築く。

2. 重点項目

(1) 利用者本人活動を推進する
①自治会活動の充実
②本人参加型研修の積極的参加

(2) 合築型施設の特徴を活かし、一人ひとりの人権・特性・ニーズを尊重し、自立及び日常生活の充実に資した支援を行う。

【更生】
①的確なニーズ把握と障がいに応じた細分化された支援プログラムの実施
・TEACCHプログラムの研究、模索
・基本的な日常生活動作、コミュニケーション、社会ルール、労働に関する支援の強化
②可能な分野で施設相互利用を実施した本人生活の充実に結びつく支援体制
③社会資源・人的資源の有効活用による、日中活動とレクリエーションの提供を通した地域社会活動の充実

【授産】
①授産種目の充実を基に、個性に適した労働環境と安定した労働対価の提供
・園内作業（委託作業）
・園外作業（委託清掃作業及び自主製品）
・実習・就労先の開拓
②可能な分野で施設相互利用を実施した本人生活の充実に結びつく支援体制
③社会資源・人的資源の有効活用による、社会性の育成とレクリエーションの提供を通した地域社会活動の充実

(3) IT・メディアを有効活用した情報収集と、本人保護者への情報提供を行う
①新たな障がい者福祉施策の情報収集と提供
②各種事業所、サービス内容の情報提供

(4) 地域社会が支える支援を目指し、法人内外機能との連携を図る
①法人機能の活用（ライフサポートセンター・施設を含む各事業）
②地域・行政・関係機関（就業・生活支援センター、地域療育等支援事業、居宅事業所等）・保護者との連携

(5) 職員資質の向上に努める
①障がい者福祉に関する最新情報の収集と周知
②専門知識の享受
③目的に応じた効果的なOFF-JTの実施
④研修報告会の随時実施
⑤会議・打ち合わせをOJTの場とする
⑥報告・連絡・相談の心がけ

利用者自治会 スターフォックスに決定!!

めいめい
命名
すたーふぉっくす
スターフォックス

中田智峰さん

皆さん、はじめまして！
スターフォックスと言います。
名付け親は、中田智峰さん。
ちょっぴり人見知りで恥ずかしがり屋の女性です。
スターフォックスとは英語で「星 star ＋ キツネ fox」という意味。
智峰さんには、私の姿が「星の形に似たキツネ」に見えたようです。
私は、希望の園のみんなが描いたたくさんの絵の中から利用者自治会のシンボルマークとして誕生しました。たくさんの人に親しんでもらえるよう名前も付きました。
そして、希望の園利用者自治会も「スターフォックス」と言う名前でこれから活動していくことになりました。何だか長くて最初は呼びにくいと思うかもしれませんが、私の名前を早く覚えて、希望の園利用者自治会「スターフォックス」を応援して下さいね！

会長　矢代　哲夫さん
副会長　下山田佳巨さん
副会長　倉田　雄介さん
書記　越戸　裕子さん
会計　穂積　友美さん
監事　山口真樹子さん

鈴木葉子さん 絵画展開催!!

四月二十九日から五月八日の十日間創芸工房にて、「絵画展」が開催されました。更生では二日に、授産は六日にそれぞれ作品を見に行き、カラフルな色づかいの作品にくぎづけになり鑑賞していました。

鹿島町 ギャラリー創芸工房にて

至高のビストロ

納豆そうめん

● 材　料（2人分）●

そうめん	2束
納豆	小2パック
A ごま油	大さじ1
A しょうゆ	大さじ1
A 納豆の付属たれ	2袋
A 納豆の付属からし	2袋
花がつお	少々
万能ねぎ	小口切り3本分
めんつゆ	1/4カップ

●作り方●

①そうめんはたっぷりの湯でゆで、冷水に放してざるに上げる。

②納豆、Aをよく混ぜ、①を加えて器に盛る。

③めんつゆ、冷水3カップを混ぜて、②に流し入れ、万能ねぎ、花がつおをのせる。

お好みでどうぞ…

・みょうが	1本	薄切り
・きゅうり	1本	5mm角に切る
・赤ピーマン	1/2個	5mm角に切る
・モロヘイヤ	1/2把	塩ゆでにしてみじんに叩く

混ぜてもおいしい!!

トピックス

平成十七年四月一日より常磐上湯長谷町扇田に「グループホームえぽっく」を開設し、いわき光成園利用者四名の方が新生活をスタートすることとなりました。

社会福祉法人育成会が運営し、いわき光成園がバックアップすることとなります。

当園から車で十五分圏内で、周囲には閑静な住宅が建ち並んでおり落ち着いた環境でリラックスした生活が出来ると思います。利用する方々もこれまでずっと両親と一緒の生活でしたので、家庭から離れて暮らし始める不安は多々あると思いますが、スタッフ一同、一丸となって支援に当っていき、これから自立を目指す利用者のバックアップが出来ればと考えております。

スタートして二ヶ月が過ぎようとしておりますが、世話人さんの協力もあり楽しい生活ができています。

夜勤日誌

新年度を迎え、棟内の塗装作業も無事に終了。塗りたての壁や扉は新品そのものです。まるで新築の家に居るようだ…と思うのは私だけではないようです。さて本日は来たるG・W休暇に備えてなのでしょうか…皆さん早々とお部屋に入り体力を温存しているようです。普段は消灯時間まで賑やかなDルーム内も今日はとても静かで、テレビの音だけがやけに聴こえてきます。

こんな一日もあっていいのかと自分を励ましてしまいました。消灯時間を過ぎ、皆さんの寝顔を眺めていると楽しい夢の中へ行けるような気がしてきます。

幸せそうな皆さんの寝顔に今日一日の疲れも忘れてしまうのでした…。

平成十六年度 助成事業報告

◆いわき学園（施設整備費）

○平成十六年度共同募金配分金五百万円交付決定

○平成十七年用年賀寄付金配分事業配分金六十九万四千円交付決定

編集後記

我々、育成会も各施設事業計画をもとに平成十七年度もよりよい支援を実施していきたいと考えています。会報誌ゆう・ゆうを通して最新の出来事をホットにお届けしたいと思っていますのでよろしくお願い致します。また、ご意見・ご感想等もお寄せ下さい。